

『GHPをベースとしたガスエンジンコージェネレーションの総合評価』 に関する調査結果概要

1. 実施者

社団法人 全国エルピーガス卸売協会GHPガスコージェネ調査委員会

2. 調査概要

(1) 目的

LPガスの需要構造に起因するLPガス需要の伸び悩み傾向に際し、GHPをベースとしたガスエンジンコージェネレーション機器(マイクロコージェネ1kW・5kW・6kW・8kW・9.8kW)の市場動向調査を通じて、省エネ性 経済性 需要予測 LPガス需要構造の改革等の諸課題を明らかにし、もって民生用LPガスの需要開発と分散型電源の普及促進をはかる。

(2) 実施方法

LPガス元売会社、LPガス事業者を対象としたアンケート調査(調査用紙の郵送と回収)およびGHP・ガスエンジンコージェネメーカーを対象としたヒヤリング調査。

3. 調査結果概要

- ・家庭用1kWは設置後、LPガス消費量がほぼ倍増しており、この傾向は5kW以上の各機種でも顕著となった。
- ・マイクロコージェネ販売経験者はもちろん、未経験者もマイクロコージェネ販売に強い意欲をもち、モニター設置によるデータ収集態勢に入るなど、全体の80%強が販売への強い意欲を示した。
- ・マイクロコージェネの運転形態は「熱主電従」が中心で、熱利用の筆頭に「給湯」を挙げたケースが多数を占め、暖房がそれに続いた。ここでも熱利用が多いほど経済効果が上がるマイクロコージェネの特徴が顕著となった。
- ・今後の一層の普及には、機器価格の低れん化と補助金制度の継続を指摘する声が圧倒的で、この両者の相乗作用がマイクロコージェネ普及の最大のポイントであることが示された。

4. 調査結果から得られた効果

- ・上記、調査結果概要に同じ

5. 調査結果の今後の活用、調査結果を踏まえた今後の取組み

- ・LPガス事業者への一層のマイクロコージェネ普及啓蒙、講習会の開催など。
- ・メーカーへのLPガス仕様機器の一層の拡充と機器価格の低れん化および行政への補助金制度の継続への働きかけ。
- ・将来的には集合住宅や団地へのマイクロコージェネによる熱電併給なども視野に入れたマイクロコージェネ利用拡大への挑戦。

6. 補助金確定額

8,043,043円